

県立古河中等教育学校【総合的な学習の時間計画】（令和8年度）

学校の教育目標

<p>豊かな心（寛容の精神、謙虚さ、思いやり）と確かな学力を兼ね備えた次代のリーダーの育成</p> <p>(1) 6年間の継続的・計画的な教育活動を通じて、一人一人が高い志をもち、その実現に向けて知性と人間性を育む。</p> <p>(2) 科学教育や国際交流、医学分野等の教育活動を通じて、体験的・探究的な学習活動の展開により、国内外で活躍するための科学的思考力や表現力を培う。</p> <p>(3) 異年齢交流を重視した学校行事や部活動、トップリーダーとの交流、ボランティア活動などを通じて、社会に貢献するリーダーとしての資質を磨く。</p>
--

総合的な学習の時間の評価

目標と育成する資質・能力	学習評価	配慮を必要とする生徒への支援方法
<p>(1) 弛まぬ学ぶ力 主体的態度、協働的態度、より深く学ぶ態度の育成</p> <p>(2) 発信力、論理力 思考力、判断力、表現力の育成</p> <p>(3) 科学的考察力 科学的な見方・考え方の育成</p> <p>(4) 創造力、探究力 言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力の育成</p>	<p>(1) 学び合いに積極的に参加し主体的に活動している。</p> <p>(2) 論理的で筋道立ったレポート作成や発表ができる。</p> <p>(3) 科学的プログラムの体験や作品作成に積極的に臨んでいる。</p> <p>(4) 生徒自身で課題を設定し解決している。</p>	<p>・学習上又は生活上の困難を改善・克服するための配慮(個への支援と教育的ニーズへの対応)。</p> <p>・生徒の発達の段階に応じた柔軟で、臨機応変な対応。</p> <p>・面談やアンケートにより生徒理解に努め、子供たちの実態に即した指導。</p> <p>・関係機関や外部専門家等との連携、また緊急時の支援体制の整備。</p>

各学年における主な取組内容

学年	主たる探究課題及び学習活動	外部との連携	育成を目指す生徒像
1年	<p>探究活動：身の回りの事柄に興味・関心をもち、問題・疑問点を発見し、調査・研究を重ねて最良の解決方法を見いだす。</p> <p>・探究課題1：「身近な疑問の解決」</p> <p>・探究課題2：「博物館・科学館訪問まとめ」</p> <p>個人及び協働で活動し、情報や資料の整理・分析やレポート作</p>	<p>地域行政や近郊企業への訪問・取材を通して、「コガの仕事図鑑」を制作する。制作にあたっては、地元の編集者、カメラマン、ライターといった専門家から直接、プロの取材手法や編集技術を学び、実践へと繋げる。地域の社会資源と専門家との協働を通して、情報収集力や効果的な表</p>	<p>(1) 情報収集・活用能力 自ら問いを立て、必要な情報を探究し、正しく見極めて活かせる生徒</p> <p>(2) まとめ・発表能力 自分の考えや発見を、言葉やカタチにして他者に届けることができる生徒</p> <p>(3) 課題共有・協働・解決能力</p>

	成方法を学ぶ。 仕事図鑑を制作する。	現力を総合的に育成する。	仲間と知恵を出し合い、社会や身の回りの課題に主体的に挑み続ける生徒
2年	探究活動：世の中の事柄に興味・関心をもち、問題・疑問点を発見し、調査・研究を重ねて最良の解決方法を見いだす。 ・探究課題3：「科学研究・研究所訪問まとめ」 ・探究課題4：「環境問題とSDGsについて考える」 個人及び協働でレポートを作成し、多様な発表方法を学ぶ。	環境問題やSDGsをテーマに、外部の研究所や大学と連携した探究活動を行う。事前学習では他者の意見を交えて考えを深め、プレゼンソフトで成果を発表する。訪問先の情報を分析して独自の仮説を立て、見学や講話を通じて検証する。最後は成果の発表と振り返りを行い、次なる課題の発見へと繋げる。	(1) 情報収集・活用能力 多様な視点から情報を集め、それらを比較・分析して、物事の背景まで深く見極めることができる生徒 (2) 表現力と発信力 だれに、何を、どう伝えるかを考え、根拠をもとに自分のメッセージを効果的に発信できる生徒 (3) 科学的見方・考え方 なぜ？本当か？という疑問を持ち、データや事実に基づいて筋道を立てて客観的に考えることができる生徒
3年	探究活動：プロジェクトを具体化し、実践、発表後の振り返りを通して社会への貢献と自己の変容を確認する。 ・探究課題5：「インタビューによる地域ニーズの抽出」 ・探究課題6：「SDGsを軸とした課題の自分事化」 インタビュー術やアイデア発想法を習得し、得られた情報を分類・整理することで、社会の課題と自身の関心を結びつけた独自の探究テーマを設定する方法を学ぶ。	地域住民や専門家と連携し、社会課題解決に向けた協働プロジェクトを実践する。前半はインタビューや施設訪問からリアルな課題を調査し、SDGsの視点を交えて「問い」を設定する。演劇的手法によるプログラムで協働力を養う。後半は企画コンペを経てプロジェクトを実践・検証し、地域を招いた発表会で自己の変容を振り返る。	(1) 論理的思考力 複雑な問題に対して、根拠と論理の筋道を明確にし、自分の答えをパズルのように組み立てられる生徒 (2) 語学力と表現力 語学や様々なツールを駆使して、世界や多様な人々に自分の想いを届け、対話できる生徒 (3) 科学的探究心・好奇心 知的好奇心のときめきを原動力に、答えのない問いへ粘り強く挑み続ける生徒